

## 大船渡発

## 「加工工場」完成



震災で工場が全壊した大船渡市の水産加工業・森下水産の3番目の工場が完成しました。森下水産は、本社工場などが4年前の震災の津波

で全壊しましたが、その年の7月に業務を再開しました。鉄骨2階建て・延床面積約2500平方メートルの第三食品工場は、イカやサンマ、鮭などを『焼き魚』や『煮魚』に加工する工場です。市の復興補助金を受けて建設されました。工場で加工された商品は全国に向けて出荷されます。

(2/19 ニュースエコー)

## 盛岡発

## 「定点撮影」写真展

被災地の変遷を伝えようと陸前高田から宮古まで、同じ場所から撮影し続けた写真展が、盛岡市内のカフェで開かれています。写真は、盛岡市在住の長谷川正さん(61歳)が撮影したもので、会場には陸前高田から宮古までの15か所で、震災発生直後から1年ごとに同じ場所で定点撮影した写真39点が展示されており、被災地の姿がどのように変わって来たかを感じることができます。写真展は、盛岡市稲荷町の「フォト&カフェSOLUNA」で来月8日まで開かれます。(2/20 ニュースエコー)



## 盛岡発

## 「盛岡カキ小屋」開催

カキ養殖をしている大槌町の漁家を応援しようと盛岡でカキ小屋が開かれました。「盛岡カキ小屋」は、東日本大震災の被災後に遠洋漁業からカキ養殖に転向した大槌町の阿部清寿さんを応援しようと盛岡市の会社役員・影山明仁さんなどが市内の飲食店で開いたものです。大槌産のカキが用意され、訪れた人たちは殻ごと蒸されたカキをほおぼっていました。(2/21 ニュース)



## 釜石発

## 唐丹第3トンネル着工



三陸沿岸道路の工事が急ピッチで進んでいますが、釜石市内につくられる「吉浜釜石道路」の唐丹第3トンネルが着工しました。釜石市の唐丹町と甲子町を結ぶ唐丹第3トンネルは長さ

が2998メートルで、2017年春の貫通を目指しています。吉浜釜石道路が完成すると県立釜石病院と大船渡病院の間は現在の60分から35分へ大幅に短縮され、医師不足を補うための2つの病院の連携にも効果を発揮します。復興道路は、緊急時の輸送だけでなく、観光の振興や沿線のまちづくりにも生かしていくことが求められています。(2/23 ニュースエコー)

## 宮古発

## 「藤の川海岸」津波対策

宮古市の藤の川海岸について、県は23日開催した住民説明会で防潮堤を整備する方針を決めました。海水浴場でもある藤の川海岸には津波対策施設がなかったため、東日本大震災で周辺は大きな被害を受けました。県は景観にも配慮した国道のかさ上げと早期完成が見込める防潮堤の二つの案を精査しましたが、かさ上げに比べ、費用、工期ともに3分の1に抑えられる防潮堤の整備を提案していました。今後詳細設計に着手し2017年3月までの完成を目指しています。(2/24 ニュースエコー)

## 大槌発

## さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週はおおつちさいがいFMの道又はるかさんがまずは2月17日の朝に起きた地震と津波注意報について伝えてくれました。揺れは比較的小さかったものの長く続いたため、町内の方は大きな不安や恐怖を感じ、たくさんの人が避難所に集まったそうです。またおおつちさいがいFMでも生放送で避難を呼びかけ続けたという事です。震災から間もなく4年ですが、心にはまだまだ不安を抱えていると話していました。このほか4月に開校する大槌町の小中一貫校の話題や、保育士不足で子どもたちの受け入れができない現状を伝えてくれました。(2/25)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122